

令和4年度厚生労働科学研究費補助金(認知症政策研究事業)

併存疾患に注目した認知症重症化予防のための研究

分担研究報告書

「認知症者の併存疾患管理の手引き」作成のための文献検索・・・ 食道癌・胃癌

研究分担者 八木浩一 東京大学大学院医学研究科 消化管外科学講師

研究要旨:認知症と食道癌・胃癌に関する国内外のガイドラインの調査を行い、検索した論文から認知症患者の胃癌・食道癌の治療について指針を作成するための論文を抽出した。

A. 研究目的

「胃・食道癌手術と認知症は関連するか？」

「認知症者が胃・食道癌手術をする場合、胃・食道癌手術で注意すべき点は何か？」

「胃・食道癌手術をする場合、認知症の治療で注意すべき点は何か？」のクリニカルクエスチョンに対して文献および診療ガイドラインからエビデンスを収集し、治療指針について提言する。

B. 研究方法

Pubmed および医学中央雑誌で文献を検索した。国内の食道癌・胃癌と認知症に関するガイドラインを検索した。

C. 研究結果

「胃・食道癌手術と認知症は関連するか？」に関しては、PubMed 及び医学中央雑誌での文献検索から参考となる数編の論文を抽出した。認知症診療ガイドライン 2017、胃癌治療ガイドライン第 6 版、食道癌診療ガイドライン 2022 年版、高齢者に対する消化器外科手術診療指針 2023 には、参考となる文言はなかった。「認知症者が胃・食道癌手術をする場合、胃・食道癌手術で注意すべき点は何か？」「胃・食道癌手術をする場合、認知症の治療で注

意すべき点は何か？」については、認知症診療ガイドライン 2017、胃癌治療ガイドライン第 6 版、食道癌診療ガイドライン 2022 年版、高齢者に対する消化器外科手術診療指針 2023 には記載はなく、PubMed 及び医学中央雑誌での文献検索においても参考となる文献は抽出できなかった。

D. 考察

上記クリニカルクエスチョンに対する明確な回答は存在しない。少ない参考文献を基に新たな指針を提唱すべく、文献の解析を進める必要がある。

E. 結論

次年度は抽出した文献の解析し、指針を作成する。

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他 該当なし